

ときわの風

『同窓会会報』ときわの風創刊!!

このたび「ときわの風」常磐大学同窓会会報」を創刊いたしました。今まで会員の皆さまには学園報「TOPOS」をお送りしていましたが、今後は年二回、「ときわの風」を通じて、同窓会活動の様子や母校の近況をお届けいたしますので、ご期待ください。今後は年二回、「ときわの風」には、学生時代を思い出すような爽やかに駆け抜ける風のイメージと、風のように会員の皆さまにさまざまな情報をお届けしたいという願いが込められています。創刊にあたり、池田会長、齊藤副会長、西野副会長よりご挨拶をいただきました。



池田 正則
 社会福祉法人 水戸市社会福祉事業団 水戸市知的障害者通所 授産施設 みのり 勤務

会長 **池田 正則**
 (人間科学部一期卒)

社会資源の存在として

卒業後まもなく二十年が経とうとしています。皆様お元気でしょうか。共に学んだ仲間が、それぞれの分野で活躍のことと思います。さて、皆さんは忙しい毎日のため、学生時代を振り返ることもあまりないのかもしれない。私の頃は卒業と同時に、大学とは青春の一ページであったと懐かしく思うものでしたが、今は生涯学習の時代です。大学とは学生にのみ開かれたものではなく、社会に出てからも関わっていきける社会資源という存在になっています。車社会に例えれば、走っては又給油するガソリンスタンドのようなものではないでしょうか。そうすると、一生付き合っていく資源とみなす事もできます。

母校への愛と同時に、いつしよに育っている存在として、卒業後も互いに支えあっていけるよう同窓会活動を活発にしていきたいと考えています。皆様のご指導・鞭撻をよろしくお願いいたします。



齊藤 久展
 学校法人常磐大学 勤務

副会長 **齊藤 久展**
 (人間科学部一期卒)

創刊に寄せて

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。常磐大学同窓会は一九八七年三月に発足以来、同窓生の各界における活躍が一定の評価を受けているところでございます。今日、大学を取巻く環境は大変厳



西野 光範
 茨城高等学校 勤務

副会長 **西野 光範**
 (人間科学部二期卒)

風の便り

総会で会いませんか？なかなか日常がせわしくて、家を空けるのが難儀です。家事に内職、家庭サービス。いえいえ何より、体を休めたいっ！年齢です。

しい時機にある中で同窓会報「ときわの風」が創刊され、会員の皆様との更なる連携を深めることが出来たことは大変喜ばしい限りでございます。いま常磐大学では教職員が一丸となって教育改革、組織改革など新しい大学づくりに努力しております。二〇〇五年に発足した「卒業生センター」もその一環の事業でございます。更に二〇〇九年は創立者諸澤みよ先生が裁縫伝習所を開かれてから開学百年にあたり、これを機会に改めて建学の原点を見つめ、二十一世紀を新たな飛躍の世紀とすべくその取組みを始めようとしております。

どうか今後も同窓生の皆様のご支援とご協力をお願い致しますと共に、皆様のご健康と更なるご活躍をご祈念申し上げます。

総会に出ませんか？年に一度の機会、懐かしい顔を見られます。話を聞くだけで顔がほころんでしまう、あの人！目に浮かびます。そこは「同窓界」という、やすらぎの場です。

総会を尊びませんか？異業種の同窓生が集い、話し合うのは楽しいこと。職種を超えた付き合いができることは貴重なことです。

総会にはあなたを待っています。大学が、卒業生である会員の私たちを大事に思ってくれていることがわかります。ぜひ足を運んで、触れてください。

総会で会いましょう！同窓の野球選手やレーサーの話の間近で聞けるなんて大変誇らしいことです。尤も彼らが総会に出席してくれたら話ですが。

現

在までそれぞれに活動していた常磐大学大学院、常磐大学、常磐短期大学、常磐大学高等学校、常磐大学幼稚園の同窓会をつなぐ「学校法人常磐大学連合同窓会」が結成され、二〇〇五年二月一日に発足式が行われました。連合同窓会の目的は、各同窓会の自主性を尊重し連絡機関として機能すること、それぞれの事業を支援し各組織間の相互協力体制を整えること。卒業生が「常磐」の名のもとに一体化することで、法人全体の発展に寄与することです。

また、同窓会の活動拠点として「常磐大学同窓会館」(水戸市新荘一丁目七二六)が竣工しました。同窓会館はエントランスホール、応接室、楓ホール、会議場等からなり、楓ホールには松井エイコ氏によるステンドグラスが設置され



同窓会館は、幹事会や同窓会総会の開催に使用しています。今後、皆さまのご希望・ご意見をいただきながら、有効な利用方法について検討していきたいと思っております。

常磐大学 Tokiwa Open College オープンカレッジのご案内

常磐大学は二〇〇〇年四月に「生涯学習センター」を開設し、大学の持つ教育資源を開放することで、高度で多様な人々の学習ニーズに応え、地域の学習環境の発展に貢献してきました。さらにその活動を拡大し、翌二〇〇一年七月には水戸駅北口（川又書店六階）に水戸駅前校を開設しました。そして、二〇〇五年四月に大学教育の開放活動より積極的に展開するため、発展的名称変更を行い、名称を「生涯学習センター」から「エクステンションセンター」へと改称いたしました。エクステンション(Extension)の語義は、

「延長、拡張」ですが、「University Extension」とすると「大学教育の開放」を意味するようになります。現在のエクステンションセンターの活動の中心は、オープンカレッジ（公開講座）の開催です。大学キャンパス・水戸駅前校・常磐大学高校の三つを会場とし、教養・語学・パソコン・資格取得など様々な分野からなる講座を年間約六十講座展開しています。今後のエクステンションセンターの活動の中で意識的に取り組むものとして、在籍生・卒業生の資格取得などのキャリアアップの支援です。卒業して社会人になっても常に学び続ける必要がある厳しい社会の中で、卒業生が再び学ぶことのできる再教育の場としての役割を果たしていきたいと考えています。オープンカレッジは会員制ですが、卒業生は入会金が免除となり、また、一部講座では受講料が割引や無料になるなど特典も様々です。今後さらに、卒業生が再び「学びの場」として、常磐に戻ってくることでできる環境づくりを目指すとともに、「資格取得・受験講座」など卒業生のキャリアアップを直接的に支援できる講座や学習意欲に応えることのできる多様な講座を数多く企画していきますので、大いにオープンカレッジを活用していただければと思います。

詳細については
エクステンションセンター
☎019(333)28511



二〇〇五年度 オープンカレッジ(秋講座)

※八月中旬より募集予定

教養講座

- 茨城の文学と歴史
- 宮崎駿の世界
- 生活習慣病予防講座
- 中高年の健康づくり運動
- イギリス文化と生活
- コミュニケーションの心理学
- アメリカ映画のなかの日本人

語学講座

- 楽しい英会話
- 楽しい中国語会話
- アニオハセヨ!
- はじめての韓国語会話
- はじめてのドイツ語
- 子育て英会話

パソコン講座

- やさしいパソコン入門
- ワード(ワープロ)入門
- エクセル基礎編
- エクセル応用編+パワーポイント

資格取得講座

- 英検準一級準備講座
- 英検二級準備講座
- TOEIC TEST 準備講座
- パソコン検定対策講座(三・四級)
- 色彩能力検定(三級)
- 日商簿記検定対策講座(三級)
- 証券外務員資格対策講座(二種)

教養講座

女性の現在・過去・未来 これからの自分創り

講師/常磐短期大学 講師 佐藤啓子

●講座の内容
あなたは、自分の生活をどのように充実させていますか？過去の長い歴史の中では女性にはどのような生活をしてきたのでしょうか。そしてそれは現在の女性にどのような影響を与え、改められてきたのでしょうか。内外の歴史的人物や思想を通して女性のこれからのを考えてみましょう。

●第1回テーマ
あなたは現在の自分に満足していますか？

●第2回テーマ
過去の女性からのメッセージ

●第3回テーマ
これからの女性は？

申込期限	9/12(月)	開講時間	13:00~14:20
会場	水戸駅前校	回数	3回
定員・対象	30名・一般	受講料	3,000円
開講日	9/21(水)・9/28(水)・10/5(水)		

パソコン講座

エクセル応用編 +パワーポイント データ処理とプレゼンテーション資料の作成

講師/常磐短期大学 講師 佐藤隆弘

●講座の内容
本講座では、ビジネス場面でよく使われる Excel の機能を利用する方法と、プレゼンテーションソフトである PowerPoint の基本的な操作の習得を目指します。前半の5回の講座では、ワークシート間の計算、集計、ピボットテーブルの利用、関数の利用などの Excel の応用的な使い方について、練習問題を解きながら学んでいきます。後半の5回の講座では、例にならない、PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料を作成していきます。

申込期限	11/14(月)	開講時間	18:30~19:50
会場	常磐大学	回数	10回
定員・対象	30名・一般	受講料	10,000円
開講日	11/24(木)・11/25(金)・12/1(木)・12/2(金)・12/7(水)・12/8(木)・12/9(金)・12/14(水)・12/15(木)・12/16(金)		

資格取得講座

英検2級準備講座 毎日の生活を英語で考えてみよう

講師/常磐大学 講師 園城寺信一

●講座の内容
言語学習においてはしばしば「習うより慣れよ」と言われますが、厳しい時間的制約の多い学習者が、むしろ「慣れるまで習え」というモットーで効率的な学習法を習得して、主体的・意欲的に学習し、英検2級に合格できるようになるのが目的です。上記の目的の達成のためには、国際人として相応しい問題意識を持ち、自らの意見を積極的に英語で表現することを習慣化することが大切になります。

申込期限	9/26(月)	開講時間	18:30~19:50
会場	常磐大学	回数	10回
定員・対象	20名 一般	受講料	本学生 10,000円 卒業生 9,000円 一般 5,000円
開講日	10/6(木)・10/13(木)・10/20(木)・10/27(木)・11/10(木)・11/17(木)・11/24(木)・12/1(木)・12/8(木)・12/15(木)		

※テキスト代は別途かかります

資格取得講座

福祉住環境 コーディネーター検定試験 対策講座(3級)

講師/公務員試験セミナー 講師

●講座の内容
高齢化社会が進捗しつつある今日、高齢者や障害者が安心して暮らせる社会基盤を作ることが私たちの課題となっています。平成12年4月から介護保険制度が施行された関係でこの検定が注目され、7万人を超える受験者がある異例の人気検定試験です。この検定で得た知識やノウハウは、建設、医療、福祉関連業界などあらゆる仕事に活用でき、高齢者、障害者の要望に合ったアドバイスや提案をするのに役立てることが出来ます。特に住宅設備、福祉、保険・医療、公共施設、教育機関等の就職を目指す学生はこの資格を取得して、企業にアピールしていただければと思います。

申込期限	8/12(金)	開講時間	10:30~16:10
会場	水戸駅前校	回数	21回
定員・対象	40名 一般・本学生	受講料	本学生 26,500円 卒業生 28,000円 一般 30,000円
開講日	8/27(土)・9/3(土)・9/10(土)・9/17(土)・9/24(土)・10/1(土)・10/8(土)		

※テキスト代込み

施設紹介

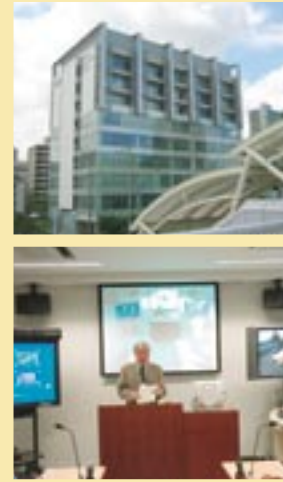
1

「弓道場・尚志館」

常磐大学校ノ牧グラウンド内に弓道場「尚志館」が完成しました。この弓道場「尚志館」の「尚志」とは「孟子」の尽心の中にある「人は心ざしを高尚に保つべきである」という言葉に由来し、常に仁に身を置き、義によって事を行うことを理念とし命名されています。射場は延べ一五・六平方メートル、的場は延べ三二・〇平方メートルです。立ち人数は五人という広さで、全射場を使用しても周りを気にすることなく集中して練習に励める環境が整っており、公式戦でも利用できます。また、姿見(基本動作、型の確認)ができる鏡が取り付けられているスペースでは、基本練習がいつでもできるようになっています。



キャンパス NOW



常磐大学大学院「被害者学研究科」開設 東京にサテライトキャンパス設置

常磐大学大学院に人間科学研究科、コミュニティ振興学研究科に続いて、被害者学研究科が2005年4月開設されました。被害者学研究科では、社会人の中でも特に被害者と接する実務に従事する現職者を積極的に受け入れるため、必修科目を平日夜間や休日に開講。また、東京都港区芝浦のキャンパス・イノベーションセンターに、サテライトキャンパスを設置して、水戸(本校)とインタラクティブな授業を実現し、被害者学研究者や被害者支援活動のエキスパートの育成を目指します。被害者学を主とした修士レベルの教育機関は世界でも例がなく、世界被害者学会をはじめとするさまざまな分野から、大きな期待が寄せられています。

2004年度 常磐大学同窓会決算書

項目	決算額	予算額	差異額	備考
収入の部				
会費収入	15,580,000	15,740,000	△160,000	新入会員 779名 (H15年度卒業生・H16年9月卒業生)
事業収入	163,500	140,000	23,500	税金 会費 出席者 81名 × @2,000円 託児室利用料 3名 × @ 500円
雑収入	140,264	290,000	△149,736	預金利息等
小計	15,883,764	16,130,000	△246,236	
前年度繰越金	50,410,916	50,410,916	0	
合計	66,294,680	66,540,916	△246,236	

項目	決算額	予算額	差異額	備考
支出の部				
人件費支出	33,070	70,000	△36,930	単年度名簿データ入力アルバイト 協会手配
消耗品費支出	65,075	175,000	△109,925	会議資料等印刷用紙、印刷機消耗品等
交通費支出	56,240	322,000	△265,760	税金・幹事会交通費等
慶弔費支出	30,000	100,000	△70,000	生花 (同窓会館竣工式、 敬愛会 OB 会記念演奏会)
通信費支出	1,506,110	1,999,000	△492,890	協会案内、協会資料・学園報 (TOPOS) 送付、 卒業生名簿送付等
印刷費支出	793,012	841,000	△47,988	協会案内、学園報、卒業生名簿印刷等
会議費支出	523,371	523,000	371	税金、幹事会会議費
報酬手数料支出	0	0	0	
業務委託費支出	117,166	313,000	△195,834	発送物積読の作業 (協会資料・学園報等)
雑費支出	3,885	20,000	△16,115	振込手数料等
支障事業費支出	924,650	1,050,000	△125,350	演台 (体育館用) 寄贈、学園祭援助
寄付支出	315,000	0	315,000	同窓会館竣工記念品 (ホールクロック)
小計	4,367,579	5,413,000	△1,045,421	
次年度繰越金	61,927,101	61,127,916	799,185	
合計	66,294,680	66,540,916	△246,236	

2005年度 常磐大学同窓会予算書

項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額	備考
収入の部				
会費収入	16,000,000	15,740,000	260,000	平成17年度入会者 (800名×2,000円)
事業収入	140,000	140,000	0	懇親会会費収入 (70名×2,000円)
雑収入	250,000	250,000	0	預金利息等
小計	16,390,000	16,130,000	260,000	
前年度繰越金	61,927,101	50,410,916	11,516,185	
合計	78,317,101	66,540,916	11,776,185	

項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額	備考
支出の部				
人件費支出	20,000	70,000	△50,000	協会補助等
消耗品費支出	225,000	175,000	50,000	印刷用紙、印刷機消耗品、協会関係等
交通費支出	115,000	322,000	△207,000	幹事会出席幹事交通費等
慶弔費支出	100,000	100,000	0	慶弔関係
通信費支出	1,448,000	1,999,000	△551,000	協会通知、会報送付等
印刷費支出	609,000	841,000	△232,000	会報、封筒印刷等
会議費支出	378,000	523,000	△145,000	税金、幹事会等
渉外費支出	25,000	0	25,000	会報原稿執筆謝礼、取材先土産等
業務委託費支出	306,000	313,000	△7,000	発送物積読作業等
雑費支出	10,000	20,000	△10,000	振込手数料等
支障事業費支出	1,050,000	1,050,000	0	学生支援事業 (学園祭援助等)
小計	4,286,000	5,413,000	△1,127,000	
次年度繰越金	74,031,101	61,127,916	12,903,185	
合計	78,317,101	66,540,916	11,776,185	



2004年度 常磐大学同窓会事業報告

- 学生支援事業**
内容 記念体育館に演台を寄贈 (10月)
大学行事への祝金支出 (学園祭への援助金) (10月)
- 2004年度常磐大学同窓会総会および懇談会の開催**
開催日: 2004年6月12日 (土)
場所: 京成ホテル
内容: 総会【報告】 2003年度事業報告、決算報告、入会状況
【議案】 2004年度事業計画、予算案の協議
学校法人常磐大学連合同窓会設立、
学校法人名称変更について
懇談会
- 幹事会の開催**
内容 5月: 2004年度事業報告、2004年度決算について 等
7月: 2004年度常磐大学同窓会総会報告 等
3月: 2005年度事業計画、2005年度予算について 等
- 卒業生の個人情報管理**
内容 氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル等
時期 随時更新
- 卒業生 (単年度) 名簿発行**
~ 人間科学部第18期、国際学部第5期、
コミュニティ振興学部第1期 ~
内容 卒業生氏名、現住所、電話番号
時期 2004年7月発行
- 同窓会会員への大学情報の発信**
内容 同窓会会員に対し、学園報「TOPOS」を送付
時期 12月
- 常磐大学同窓会ホームページ維持および管理**
内容 総会開催様様の掲載、異動情報受付 等
- その他**
2005年2月1日における常磐大学同窓会館の竣工及び学校法人常磐大学連合同窓会の発足を記念して、各同窓会合同でホールクロックを寄贈

2005年度 常磐大学同窓会事業計画

月	事業内容
4	
5	幹事会 (前年度決算報告、前年度事業報告)
6	総会
7	幹事会 同窓会会報 (創刊号) 発送
8	
9	
10	学生支援事業 (学園祭援助)
11	
12	
1	同窓会会報 (第2号) 発送
2	
3	幹事会 (次年度予算案承認、次年度事業計画承認)

- その他
- 常磐大学同窓会ホームページ維持・管理
 - 卒業生の個人情報管理
 - 学生支援事業
- (補足)
- 同窓会会報には、総会の議決内容・報告内容を掲載する。
 - 7月の同窓会会報発刊に伴い、昨年度まで行っていた学園報 TOPOS の発送及び総会資料の発送は行わない。

2005年度 常磐大学同窓会総会・懇談会開催

「同窓会の力が、大学の力に結びついていく。」

2005年度常磐大学同窓会総会および懇談会が、6月11日に常磐大学同窓会館で開催され、約70名の卒業生が一同に会しました。総会は池田正則会長の挨拶に続き、常磐大学・常磐短期大学学長である高木勇夫名誉会長が挨拶され、「同窓会の力が、大学の力に結びついていく。同窓生が集う拠点である同窓会館ができたことで、一段と緊密な関係を築いてほしい。」と期待感を述べられました。続いて議長指名、議事へと進行し、記念体育館への演台寄贈等の事業報告、決算監査報告、入会状況報告、役員を選任報告、そしてプライバシーポリシー (個人情報保護) について報告がなされました。議事の決議では、事業計画案、予算案に係る同意が満場一致で可決され、議事は終了しました。続いて、学校法人常磐大学常任理事である上見幸司先生より、『学校法人常磐大学連合同窓会』を正式に発足し、これを記念して『常磐大学同窓会館』が建設されたことが報告され、新たに設置された『卒業生センター』の役割と同窓会館の利用について説明がありました。その後、総会は閉会となり、懇談会場へと場所を移しました。常磐大学副学長である柄澤行雄先生は、「これまで以上に誇れる大学にするために、卒業生の力を貸してもらいたい。」と挨拶され、なつかしい同窓生や先生方との楽しい時間を過ごし、散会しました。



卒業生の皆さん、ご無沙汰しております。人間科学部の上見です。まずは皆さんがご健勝で、また地域社会や職場で思う存分活躍のことと推察し、お慶び申し上げます。またご家庭では、すでに新しいご家族をもうけられた方々も多いことと存じます。慶賀にたえません。末永くお幸せに。

さて私は、常磐大学に赴任して18回目の春を迎え、鳥根の故郷と東京で過ごしたそれぞれの18年に匹敵する期間、水戸に暮らすことになりました(注:年齢と合致しないのはイギリス暮らしがあったせいですが)。その間に、水戸に一緒に転居してきた一人の子供も成人し、夫婦ともに老眼と白髪になりました。多少、体力は落ちましたが、まだまだ元気です。

ところで、昨今の少子高齢化の波は、わが常磐大学を取り巻く環境にも大きく影響を与えております。以前からその傾向はあったのですが、今では学生は県内出身者が圧倒的多数になりました。しかも、質の高い学生が入学させ、卒業までの4年間に学生が希望する仕事に就職させることを思えば、多少の定員割れは覚悟しなければならぬ時代に入っています。まさに、「皮を切らせて骨を砕く」という心境に近いものがあります。

しかし、そう言うものの昨年は、法人内各学校の同窓会が連携して連合同窓会を誕生させ、それを契機に新荘地区に同窓会館が建設され、同窓生諸君の懇親や諸会合の場が設けられました。喜ばしい歴史の一コマです。

その際には、大学同窓会からご寄付を頂き、玄関ホールに立派な振り子時計を置くことができました。教職員一同、在学生一同に成り代りまして、深く感謝を申し上げます。今、その時計は、同窓会館の歴史を刻むかのように、コチコチと音を立て、時を刻んでおります。

その後、二〇〇五年に入ってから、学校法人常磐学園は学校法人常磐大学に名称を変更し、また今年度に入ってから、法人理事会には常任理事を置く機構改革がなされました。一方で、高木新学長の下に学長室が設置され、来年度を目処に教務部門の機構改革が断行される計画が進んでおります。前者では不肖私が、一貫教育担当の常任理事に任命され、皆さんと大学を結ぶパイプ役としてお世話係を拝命しております。どうぞ、ご支援のほど、お願い申し上げます。

さて、世間では一般に、歴史の長い大学ほど、そして卒業生が多い大学ほど、社中の連携と結束が強いと評価する傾向があります。確かに、時・空間的な歴史

MESSAGE

連合同窓会発足 常磐大学社中の核にこそ生きん

気です。

ところで、昨今の少子高齢化の波は、わが常磐大学を取り巻く環境にも大きく影響を与えております。以前からその傾向はあったのですが、今では学生は県内出身者が圧倒的多数になりました。しかも、質の高い学生が入学させ、卒業までの4年間に学生が希望する仕事に就職させることを思えば、多少の定員割れは覚悟しなければならぬ時代に入っています。まさに、「皮を切らせて骨を砕く」という心境に近いものがあります。

しかし、そう言うものの昨年は、法人内各学校の同窓会が連携して連合同窓会を誕生させ、それを契機に新荘地区に同窓会館が建設され、同窓生諸君の懇親や諸会合の場が設けられました。喜ばしい歴史の一コマです。

その際には、大学同窓会からご寄付を頂き、玄関ホールに立派な振り子時計を置くことができました。教職員一同、在学生一同に成り代りまして、深く感謝を申し上げます。今、その時計は、同窓会館の歴史を刻むかのように、コチコチと音を立て、時を刻んでおります。

その後、二〇〇五年に入ってから、学校法人常磐学園は学校法人常磐大学に名称を変更し、また今年度に入ってから、法人理事会には常任理事を置く機構改革がなされました。一方で、高木新学長の下に学長室が設置され、来年度を目処に教務部門の機構改革が断行される計画が進んでおります。前者では不肖私が、一貫教育担当の常任理事に任命され、皆さんと大学を結ぶパイプ役としてお世話係を拝命しております。どうぞ、ご支援のほど、お願い申し上げます。

さて、世間では一般に、歴史の長い大学ほど、そして卒業生が多い大学ほど、社中の連携と結束が強いと評価する傾向があります。確かに、時・空間的な歴史

の長さや卒業生の数の多さは、大学の財産である人的・物理的規模の指標ではあります。しかし、果たしてそれだけでよいのか。実は、卒業生が心に刻む母校の意味には個性があり、それらの指標だけでは真の大学社中の価値を計ることはできない。唯一、計ることができるのであれば、個々の卒業生の母校への思いの強さや共有する思いの強さや誇り、将来に向けた発展への期待の強さや深さこそ、その指標となり、推進力となるのではないかと。

実際に、歴史を長く刻んだ大学や卒業生の多い大学に行ってみると良くわかります。外から窺ってみるだけでも、在学生や同窓会の母校への信頼や愛着、期待と自信などの求心力が迸り出ているのかのように感じられます。そこには、在学生と同窓生という大学社中のエネルギーが顕在化しています。オーラと呼んでも良いかもしれません。そのパワーのベクトルこそ、大学の繁栄への道を担保しているようにも思えるのです。ここは是非にも、同窓生の皆さんの、母校に対する愛着と求心力の核となるベクトルの方向付けとパワーの発揮が期待されます。

どうか、母校、常磐大学を振り返っていただき、時には大学のキャンパスを闊歩していただき、また研修・研鑽の場として利用していただきたいと思います。それが、社中結束の魂の求心力になり、母校の支援になるのです。ご理解、ご協力を節にお願ひ申し上げます。不肖私も、大学とのパイプ役を十分に発揮したいと自らに言い聞かせております。何なりとお申し出をいただきたく存じます。

最後に、キャンペーンの一つ、同窓会館は皆さんのご利用をお待ちしております。新しく発足した「卒業生センター」にどんなことでも結構ですので、忌憚なくお申し付け下さい。では、お元気で、そして充実した楽しい人生をお送り下さいませ。

欄外: 二〇〇五年五月二十一日

親鸞の誕生日に



学校法人常磐大学 常任理事 人間科学部 人間科学研究科 教授

上見 幸司

慶應義塾大学 医学博士。
専門: 解剖学、生理学、臨床人間学、生命倫理学。
英国ウエルカム医学研究財団学術賞、吉田科学技術財団学術賞受賞。日本解剖学会評議員、英国 FRMS、英国 Ch.B. 英国タンディー大学医学部訪問教授、慶應義塾大学医学部助教授を経て1988年4月より現職。

2004年度

体育会戦績報告

硬式野球部

部長：波多野 清一
監督：石川 康剛
学生代表：小田 剛
部員数：六十七名

○第五十回記念
関東学生剣道新人戦大会
二〇〇四年十一月二十日(土)
一回戦敗退
○第五回関東女子剣道新人戦大会
二〇〇四年九月二十五日(土)
三回戦敗退

○関甲新春リーグ(三部中一部)
一勝九敗一引き分け一部リーグ五位
○関甲新秋季リーグ
五勝七敗一部リーグ四位

個人タイトル

三坂 徹 首位打者 〇・四二二
打点王 二四
ベストナイン(捕手)
鈴木伸造 盗塁王 二八(二季連続)
【関甲新一部記録樹立者】
西村 烈 一試合最多得点タイ記録

剣道部

部長：上見 幸司
監督：小澤 聡
学生代表：宮内 勇二
部員数：二十三人

○第五十三回関東学生剣道優勝大会
二〇〇四年九月十二日(日)
三回戦敗退
○第三十回記念
関東女子学生剣道優勝大会
二〇〇四年九月二十五日(土)
三回戦敗退

弓道部

部長：佐藤 環
学生代表：伊東 孝敏
部員数：二十四名

男子

○第三十四回
全関東学生弓道選手権大会
団体予選敗退
個人一次予選通過：
伊東孝敏・小澤正史・豊岡啓
○関東学生弓道選手権大会
春季トーナメント
団体一次予選敗退
個人優勝：小澤正史
観梅大会
個人五位：伊東孝敏
○関東学生弓道選手権大会
秋季リーグ戦(三部中一部)
四勝一敗一位
一部リーグ昇格
北関東ブロック個人戦
一位：伊東孝敏 八十射六十七中
○第二十八回中野杯記念弓道大会
四位：伊東孝敏

女子

○第三十四回
全関東学生弓道選手権大会
団体・個人予選敗退
○関東学生弓道選手権大会
春季トーナメント
団体一次予選敗退
○関東学生弓道選手権大会
秋季リーグ戦(二部中一部)
四勝一敗一位 二部残留
○第二十八回中野杯記念弓道大会
五位：宮川順子

上記三部以外にも体育会各部活動しております。今後にご期待ください。

学生支援事業報告



2004年度学生支援事業の一環として、C棟記念体育館に演台を寄贈しました。今後とも学生のために有効な支援事業を行っていかうと思います。



【最近の学生支援事業】
2003年度……テント20張
2002年度……テレビ2台

最近1年間で、同窓会事務局が把握している情報を掲載しています。みなさまの情報提供をお待ちしています。

ご結婚された方

橋本直さん「人間科学部12期」	米持 緑さん「人間科学部17期」
橋本紀子さん「人間科学部12期」	(旧姓 飯野)
成田泰さん「人間科学部13期」	伊藤 篤史さん「人間科学部17期」
成田勝輔さん「人間科学部13期」	石毛 徹さん「国際学部4期」
成田藤祐子さん「人間科学部16期」	石毛 薫さん「国際学部4期」
成田藤恵子さん「人間科学部16期」	(旧姓 助川)
横山正和さん「人間科学部14期」	大塚 亜寿歌さん「国際学部4期」
	(旧姓 友部)

おくやみ

今村 泰二様(享年91歳)
元人間科学部教授
田口 精一様(享年79歳)
元人間科学部教授
有倉 久雄様(享年51歳)
元人間科学部・短期大学専任講師
伊豫田 康弘様(享年59歳)
元人間科学部教授

常磐大学同窓会 プライバシーポリシー

- 個人情報の取得について**
本会が個人情報を取得する際は、利用目的を明確にし、その目的達成に必要な限度で適法かつ公正な手段を用います。
- 個人情報の利用について**
本会が個人情報を利用する際は、利用目的の範囲内で適切に行い、法令等で認められている場合を除いて、会員本人の承諾なく第三者には開示いたしません。
- 個人情報の管理について**
本会が取り扱う個人情報は正確かつ最新なものとし、それらを安全かつ正確に管理すると共に、個人情報の漏洩、滅失、改竄、棄損などの予防ならびに是正に努めます。
- 法令・規範の遵守について**
個人情報を的確に保護するため、個人情報保護関連法令およびガイドライン等の規範を遵守いたします。
- 個人情報の開示・訂正等について**
本会が保有する会員ご自身の個人情報に関して、開示・訂正・相談等のお問合せは、次に定める連絡先にて合理的かつ必要な範囲内において速やかに対応させていただきます。
- お問い合わせ先**
〒311-0185 茨城県水戸市見和一丁目四三〇番地の一
常磐大学内 常磐大学同窓会事務局
☎ 029-1331-2511
- その他**
法令の制定や改廃、または個人情報保護を図るための改善等に伴い、プライバシーポリシーを変更することがございます。

編集後記

常磐大学を卒業して五年が経ちました。時がたつのはとても早いものですね。(小)

会報は同窓生の皆さまとともに作っていくものです。忌憚のないご意見(感想)をお待ちしております。(坪)

大学の発展と同窓生の思いや絆をつなぐ会報でありたいと思っております。皆さんのご意見(感想)をぜひお聞かせ下さい。(吉)

「ときわの風」を通して、久しぶりに同窓生に連絡してみよう!という気持ちになつてくれると嬉しいです。(石)

この同窓会報「ときわの風」創刊によって、常磐大学同窓生の輪が一層広がることを心より願っております。(池)

今回、初版ということでは何からやっつけていいのか分らず不安でしたが無事、完成することができて良かったです。(石)

常磐大学専任教員一覧 (2005.4現在)

人間科学部

教授	己信雄 輔嗣	泉子志美 晴生 滋守一美	り 司樹
教授	茂 光龍秀	枝 千枝	恵美
教授	部子田山口Kirchhoff	田田原根山口	磯居村邊
教授	渡庄中瀬堀G.F.	渡依柳松北村樋林小土中渡C.R.	井上 岡川村
助教授	司信穂進雄之	進男司美温知憲毅一智	亘一子環光行一一介一敦子子樹俊之二
助教授	幸昌信	行敦	茂政哲 眞孝弘幸忠
助教授	見部田澤澤金	井賀田山田山邊野川館	向谷 藤藤山澤野
助教授	上阿富三柄重Kieran	G.Mundy	長糸伊森岩奥渡日長南
助教授	石森金佐栗西河林官森千水伊島佐文永	井佐石真松中申馬長千中	村藤原 嶋澤澤垣香崎
助教授	吉大諸井伊田五大坂小藤田水西坂池高鈴	中伊塚 専任講師	中塩岡福小中梅川
助教授	宏哲彦繁志守滋絨登滋子み治文志也介一	良 忠	博雅あ英万知幸雄暎
助教授	正晋正	史雅宏真	恒太
助教授	生之明一聡郎公愛		

国際学部

教授 友島野谷川 場川手西
大川波柏小 F.J.Berberich 福嶋
賢淳 雄 二一勝二明 壽